

ミャンマー連邦共和国
テイン・セイン大統領閣下、

ちょうど60年前の本日、日本、ミャンマー両国は外交関係を樹立し、その後、お互いに助け合いながら、それぞれの発展に努めてきました。

今日、ミャンマーの民主化への歩みとともに、両国の関係は新たな発展の段階に入りつつあります。昨年、私は日本の総理として36年振りに貴国を訪問し、少数民族への支援を含むミャンマー国民の生活向上・貧困削減、人材育成・制度整備、持続的発展のためのインフラ整備をはじめ、あらゆる分野で、官民を挙げて、貴国の改革を支援していくことを表明しました。先月、ASEAN関連会合に出席するため、私は貴国を再訪しましたが、ヤンゴン近郊のティラワ経済特別区をはじめ、電力、交通、通信、郵便等、幅広い分野で我が国の支援が実を結びつつあることを実感し、大変嬉しく感じた次第です。

昨年末、閣下を日本にお迎えし、60周年を記念するロゴマークを一緒にお披露目させていただきました。貴国の才能あふれる若者がデザインされた両国の国旗をモチーフにしたマークは、まさに両国の絆の深さを象徴し、これからの飛躍を予感させるものです。特に、両国の未来を担う若い世代の交流促進は、両国の信頼と発展の基盤です。私は、国会議員の仲間とともに、貴国の小学校建設を継続的に支援してきていますが、妻の昭恵ともども、ミャンマーの子どもたちの輝く目に、いつも勇気を与えてもらっています。

戦後70年間、日本は、ミャンマーを含む地域の平和と発展に貢献してきました。今年、貴国は初めてASEAN議長国を務められ、国際社会での存在感を内外に大きく印象付けられました。こうした中、日本は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の下で、貴国ともしっかり連携しながら、地域さらには世界の平和と発展に貢献していく考えです。

貴国及び貴国国民の益々の御繁栄を心からお祈りいたします。

平成26年12月1日
日本国内閣総理大臣 安倍 晋三